

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT UNIX 7.2 SP1 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT UNIX 7.2 SP1 を 国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX サーバ 7.2 SP1
- Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX クライアント 7.2 SP1

2. 変更内容

- 既存バージョン 7.2 から、以下の機能追加と不具合対策を実施致しました。

2.1 追加機能

[A] クライアント/ サーバ共通

- 1) SFTP ver4 に対応し、UTF-8 の名称のファイルをクライアント/サーバ間で転送可能になりました。
接続相手先と使用 SFTP ver を自動決定し、双方 ver4 対応可能な時には ver4 で動作します。
クライアント ssh2_config 設定に "SFTPVersion" を追加し、ver3 動作指定も可能としました。
- 2) ssh-certtool コマンドに 下記追加をしました。
 - ① 拡張フィールドに "SubjectAltName" 項目を追加しました。UPN (User Principal Name) か IP アドレスを指定します。
 - ② PKCS#10 証明書署名要求生成の際、鍵長と暗号アルゴリズム未指定でも生成可能になりました。
その場合は、デフォルト値 2048bit, RSA で生成されます。
- 3) ssh-certtool と ssh-keygen コマンドに、-f オプション (FIPS モード指定) を追加しました。

[B] サーバ機能

- 4) sshd2_config に "ForceSftpFilePermissions" 指定を追加し、クライアントからアップロードする保存ファイルのパーミッションを強制指定可能としました。

2.2 不具合対策内容

[A] クライアント機能 [対象: RSIT UNIX クライアント および RSIT UNIX サーバ]

- 1) RSIT UNIX ver6.1 のサーバに対して scp で put 時に、低頻度でエラーメッセージ "(2) Protocol error: packet too long: 35044" を出力し失敗する問題
- 2) クライアントが HP-UX 11.31 の場合に限り、ローカルポート転送終了時にシスログに不要なエラーメッセージ "ssh2: shutdown() failed" を記録する問題
- 3) リモートコマンドとして Tivoli Storage Manager "dsmc" コマンドを発行時に、不要な不正キャラクターを表示する問題
- 4) RSIT Windows Server に対して sftp サブコマンド "ls -l <ファイル名>" 発行時に、タイムスタンプの時刻を誤表示する問題 [ver7.2 のみ発生]
- 5) ログインユーザに対する PAM 認証パスワード変更要求処理の流れの中で、本来 "Changing password for <ユーザ名>" と案内メッセージを表示すべきところを "PAM failure" と表示してしまう問題
- 6) 旧タイプ "key_port_host.pub" (ver6.1 以前の名称) を保存サーバ hostkey として流用した場合に、既存 hostkey と見なさず、サーバ認証のための目視確認を再要求する問題 [ver7.2 のみ発生]
- 7) StrictModes=no 指定が正しく機能せず、厳格でない NFS ホームディレクトリに関連した接続が失敗する問題 [ver7.2 のみ発生]

- 8) scp コマンドにおいて、ver6.1 の時に使えた一部の正規表現が使えずにエラーとなる問題

[B] サーバ機能 [対象: RSIT UNIX サーバ]

- 1) 一部パラメータにおいて HostSpecificConfig サブコンフィグで未指定なのに、低優先の共通 sshd2_config の設定変更値をデフォルト値に戻してしまう問題
- 2) ログインターミナルから who コマンド投入時に、ある特別な条件下(別ユーザがパスワード更新処理中、かつ who コマンド参照ファイルに識別不可文字が混入)で、who コマンド結果リストの代わりに "memory exhausted" のエラーメッセージを表示する問題
- 3) 内部検索パス対象の指定誤りのために、ある操作指示実行時にシステムログに "wixbld" not found のエラーメッセージが記録される問題
- 4) Solaris 10 サーバに対し、ログインターミナルから或るテキストエディタ(vi 等)を使い多量のキャラクター貼付け操作をした後に、以後の操作がフリーズしてしまう問題
- 5) HP-UX 11.31 サーバ chroot ユーザへの sftp が失敗する問題
- 6) 起動時に HostSpecificConfig 内の設定誤りを検知した場合に、UserSpecificConfig 内に誤りがある旨のメッセージを表示する問題
- 7) 公開鍵認証において、クライアント側 複数秘密鍵の 2 番目以降で接続成功する場合に、サーバ側において一回の接続試行失敗ログが記録される問題
- 8) sshd2_config の "SyslogFacility" 指定内容が TCP Wrappers 使用時に正しく反映されない問題
- 9) rpm -U によるアップグレード時に、sftp-server symbolic error メッセージを表示する問題
- 10) ユーザ認証を LDAP 連携 PAM 認証とし、SSH サーバと外部 LDAP サーバ間を LDAPS (LDAP over SSL/TSL) で接続する構成にした場合に、クライアントからのユーザ認証が失敗する問題
- 11) 開始/停止/再起動用のスクリプトのパラメータ記述と表示 usage パラメータが相違する問題

2.3 セキュリティ対策内容

- 1) ssh-certtool コマンドにより PKCS#10 証明書署名要求を生成する際に、[CVE-2009-2408] 指摘の攻撃手法に悪用されないように、PKCS#10 証明書署名要求の項目欄から NULL 文字を削除しました。

3. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様:

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし該当製品を入手します。

<手順>

- 1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにアクセス
 - i) 直接 URL (<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>) を入力 あるいは、
 - ii) Attachmate 日本語ホームページ (<http://www.attachmate.jp/>) から
> [サポート] > [ダウンロードライブラリ] とブラウザ
- 2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページから、お手元控えの "ユーザ名"、"パスワード" を使いログイン
- 3) 表示「保守の内容」ページ内において、本製品の "ダウンロード" をクリック
- 4) 表示「Reflection for Secure IT UNIX Server」又は「Reflection for Secure IT UNIX Client」一覧から "ファイル名" をクリックし入手
～ Service Pack or Patch 欄 (Current Product Release 欄の下) が今回リリースの 7.2 SP1 です。
バージョン欄で 7.2+SP1 (7.2.1.77) であることを確認し、説明欄に示す該当プラットフォームの "ファイル名" をクリックし、次ページに進みます。
- 5) 表示「ファイル情報とダウンロード」内容を確認しダウンロードの操作を実施
～ 下部枠内の "輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します" をチェックし、
"ダウンロード:" ファイルをクリックしてダウンロードを開始します。

以上